

令和5年度第2回千葉市稲毛区公民館運営審議会 議事録

- 1 日 時 令和6年3月18日(月) 午前10時30分～11時45分
- 2 場 所 小中台公民館(講堂)
- 3 出席者 稲毛区公民館運営審議会委員(14名中13名)
井上 美穂子委員長、前島 正明副委員長、荒川 利重委員、石津谷 美佳委員、
岡山 尚美委員、川島 義美委員、草壁 陽子委員、小林 巧委員、鈴木 将夫委員、
溜 昭代委員、中村 幹雄委員、堀谷 陽子委員、屋代 健治委員
(欠席) 地曳 克浩委員
事務局(14名)
生涯学習振興課 小池課長補佐、積田主査
公民館管理室 中村室長補佐、川上主事
小中台公民館 村上館長、藤代副館長
黒砂公民館 中島館長、轟公民館 秋田館長、稲毛公民館 古川館長
千草台公民館 今関館長、草野公民館 垣地館長、山王公民館 橋本館長
都賀公民館 天野館長、緑が丘公民館 小林館長
傍聴人 なし
- 4 議 題
 - (1) 報告事項
 - ア 令和5年度千葉市稲毛区公民館利用状況(1月末現在)について
 - (2) 協議事項
 - ア 令和6年度千葉市稲毛区公民館事業計画(案)について
- 5 議事概要
 - (1) 報告事項
 - ア 令和5年度千葉市稲毛区公民館利用状況(1月末現在)について事務局より報告した。
 - (2) 協議事項
 - ア 令和6年度千葉市稲毛区公民館事業計画(案)について各公民館より説明し、委員より意見を伺った。

6 会議経過

- ・開会
- ・千葉市稲毛区公民館運営審議会委員長挨拶
- ・千葉市生涯学習振興課長補佐挨拶
- ・報告
- ・協議
- ・閉会

(1) 報告事項

- ア 令和5年度千葉市稲毛区公民館利用状況について（1月末現在）
会議資料に基づいて稲毛区全体の利用状況、稲毛区公民館図書室の整備状況及び貸し出し状況について説明した。

井上委員長 事務局よりご説明いただいた利用状況について、ご質問ご意見があれば伺いたい。

全 委 員 特に意見なし。

(2) 協議事項

- ア 令和6年度千葉市稲毛区公民館事業計画（案）について
会議資料に基づいて各館より説明した。

井上委員長 地区館長から「保育園出前事業おはなし会と公民館たんけん！」について事業の分類を家庭教育とするか少年教育とするか意見を求められたが、いかがか。

前島委員 事業内容の詳細がわからないと判断できない。定められた分類に従い、公民館にて決定してほしい。

垣地館長 ありがとうございます。公民館で判断します。

井上委員長 他に事務局からご説明いただいた内容に意見や提案があれば伺いたい。

前島副委員長 この審議会は次年度の計画を審議し、各事業計画の中で良いものは推進するなどを考えていく場であると認識している。

県内の公民館を一部調べた。千葉市は公民館の利用が無料であるが他の自治体では有料の公民館もあることを利用者は理解することが必要ではないか。また、施設の利用があっても、サークルの会員数が少ないなどの理由で利用者数が少ない状況にある。サークル活動の紹介を公民館が行うことにより興味を持った方が参加するなど集客につながると思う。

コロナにより意見交換の場がなくなっているので利用者の意見交換の場

- を設け、様々な意見を生かす方法を考えてほしい。
- 井上委員長 コロナ明けで利用者が戻ってきている状況であり、公民館への意見等を各委員にお伺いしたい。
- 堀谷委員 4年振りの文化祭にて展示を行った。保育園や幼稚園の作品にはご族で来館される姿があり、大変盛況であった。今後も継続開催を期待する。
- 中村委員 公民館で保険に入っていることは知っているが、サークル単体で傷害保険に加入している団体はあるか教えてほしい。
- 中村室長補佐 公民館管理室では把握していない。公民館が加入している保険以上の保障を求めるとすれば、サークル単体で任意加入することと考える。
- 前島副委員長 生涯学習振興課等からの保険加入の案内は厳しいだろう。活動内容にもよるため、団体ごとの判断になるのではないかと。
- 小林委員 活動内容によりリスクを考え、単位団体により判断するのが良いと思う。
- 中村委員 ご意見ありがとうございます。
- 岡山委員 コロナをきっかけに福祉施設が利用できなくなり「童謡をうたおう」「よいこの広場」などの活動を公民館にて開催することとなった。公民館を使用することで地域の方の認知度も高まり利用者アップにつながった。感謝している。
- 荒川委員 特に意見なし。
- 屋代委員 各事業の講師を地域の協力や公的機関等から招くなど工夫がみられて良いと思う。
- 石津谷委員 家庭教育支援などの子育て関連にて活動をしており、1年ほどの利用で終了する方が多く感じる。継続して利用してほしいが、支援を継続するためにどうしたらよいのかと考えている。
- 藤代副館長 事業対象で高齢者とはどの年代を示すのか。
- 溜委員 小中台公民館では60歳以上の方を対象としている。
- 川島委員 高齢者はマンションの自治会施設などの自宅により近い施設を使用しているのではないかと。
- 川島委員 稲毛公民館の事業計画は、工作・健康・相続など時代に先乗りした講座を計画していてよい。
- 鈴木委員 街角シネマの「こどもしょくどう」とは何か。
- 秋田館長 映画のタイトルである。
- 鈴木委員 公民館の設置基準は人口に対するものかなど設置基準があれば教えてほしい。
- 小池課長補佐 中学校区ごとに1つの公民館が設置している。今のところ新設の計画はなく、老朽化した施設の今後についての検討をしている。
- 溜委員 公民館で麻雀や囲碁のサークルは存在するのか。

- 藤代副館長 5名集まれば利用者登録が可能であり、小中台公民館でも麻雀と囲碁のサークルが活動している。
- 小林委員 千草台公民館の主催事業等における利用人数が前年度より減少したことについて、理由等考えがあれば伺いたい。
- 今関館長 地域児童が減少傾向にあることと、酷暑の影響による夏休み事業への参加者が少なかったことが考えられる。小学生の利用増に向けて次年度の事業の見直しを行った。近隣小学校への働きかけなど広報に力をいれていく予定である。
- 小林委員 各館事業計画を立てた後、総括的にどのような評価をしているのか。市全体の事業計画を見て感じたことなどあれば教えてほしい。
- 中村室長補佐 現代的課題を取り扱う講座が少ない傾向にあり、生活にマッチした生活・趣味・教養の講座は増えている。
- 小林委員 参加者の増加だけにとどまらず、なさなければならぬ事業とのバランスを今後どのようにしていくべきか定める必要があるのではないか。どのようなジャッジを進めていくかを固めなければ、実施した事業へのフィードバックを行うことはできない。社会教育施設として期待されて存在しているのだから、将来に向けて考えていく必要があると感じている。
- 前島副委員長 小林委員の意見を本審議会で検討したり、より具体的な内容を事務局から提案してもらい議論すると良いと考えている。
- 草壁委員 育成委員会と社会福祉協議会は親子でクリスマスコンサート、あいさつ標語展示会、凧揚げ大会など、小中台公民館と協力して事業に取り組んでいる。凧揚げ大会の定員についてはコロナも収束したため400名に拡大してもよいかと思うがいかがか。
- 藤代副館長 定員は400名に修正する。
- 井上委員長 健康に関する講座が多くなったと感じた。身近な場所で受講することができるのはとても良いことだと思う。ぜひ、参加してみたい。以上で議事を終了とする。

閉会